

県道70号線におけるヤンバルクイナ出現状況調査

目的

近年、年間10件を超えるヤンバルクイナの交通事故が確認されているが、交通事故発生メカニズムについては未だに不明なことが多い。特にヤンバルクイナの交通事故が発生した（しやすい）時間帯については、ほとんど記録がない。

これまで約2年にわたり、県道2号線沿いの林内に自動撮影装置を設置し、ヤンバルクイナ等の撮影される時間帯等について検討を行ってきた。それによると、6～9時に撮影頻度が高く、交通事故が発生しやすい時間帯であることが示唆された。

本調査は、実際にヤンバルクイナが路上に出現する時間帯、出現状況（性齢、行動等）についてより詳細なデータを収集し、ロードキル対策に活用することを目的に行うものである。

調査方法

日の出前から日の入り後にかけて、県道70号線道路周辺の定点において路上に出現するヤンバルクイナの出現状況（出現地点・出現時間・性齢・行動等）を記録した。記録にあたっては、極力、個体識別に努めた。また、県道70号線を通行する車両の状況（通過台数・種類等）についても記録した。

調査場所

調査は、これまでヤンバルクイナを目撃情報の多い、県道70号線9.9KP～10.0KP（国頭村楚洲）の約100mとした。

実施期間

調査は以下の時期に実施した。

2007年5月15日（火）	5：00～20：00
2007年6月 8日（金）	5：00～20：00
2007年6月22日（金）	5：00～20：00
2007年7月25日（水）	5：00～20：00
2008年11月22日（木）	5：00～20：00

結果

これまでの5日間の調査において、のべ162回のヤンバルクイナの出現を確認した。従来から指摘されてきたとおり、朝および夕方に出現頻度が増加する傾向がみられたが、利用状況等詳細については現在検討中。少なくとも、調査日（すべて平日）は、レンタカーの利用はそれほど多くなく、地域住民への普及啓発が、ヤンバルクイナの交通事故減少に有効である可能性が示唆された。

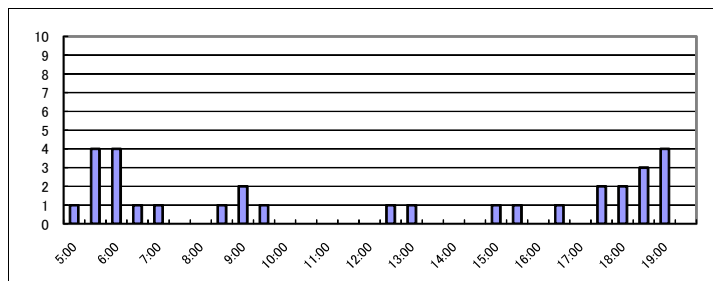


図1-1 ヤンバルクイナ出現状況の変化(2007年5月15日)

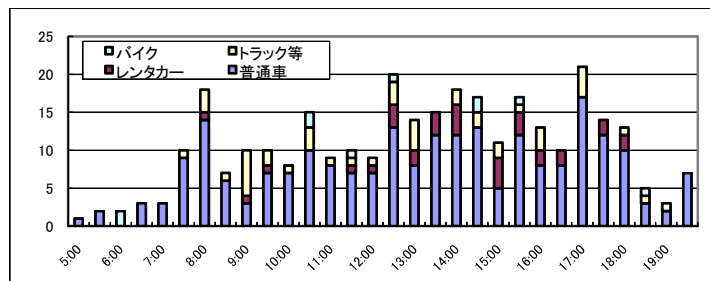


図1-2 調査地域における交通量の変化(2007年5月15日)

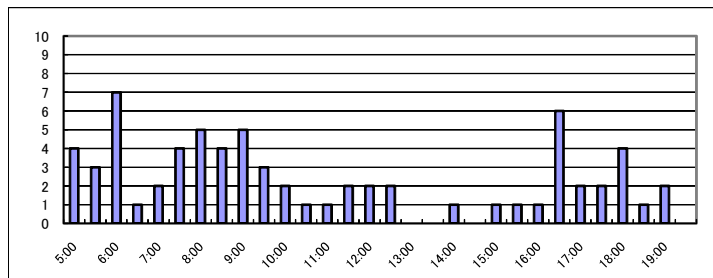


図2-1 ヤンバルクイナ出現状況の変化(2007年6月8日)

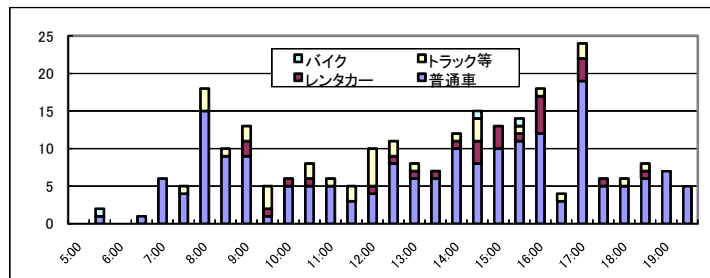


図2-2 調査地域における交通量の変化(2007年6月8日)

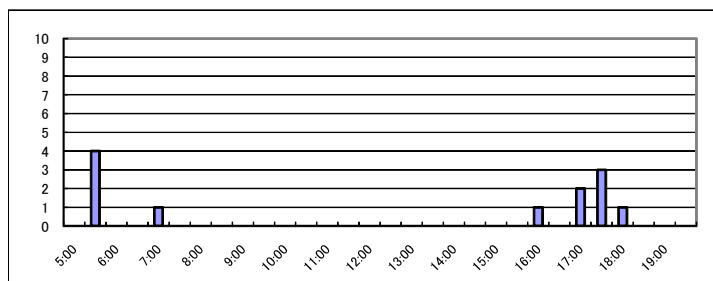


図3-1 ヤンバルクイナ出現状況の変化(2007年6月22日)

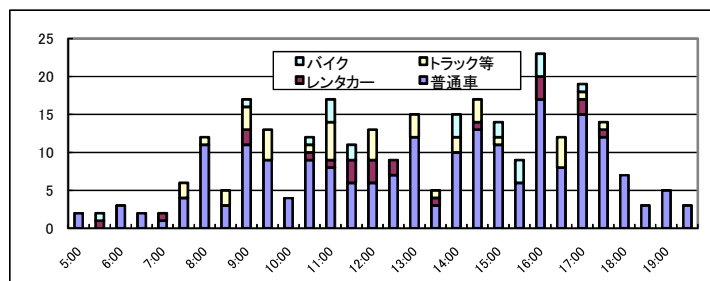


図3-2 調査地域における交通量の変化(2007年6月22日)

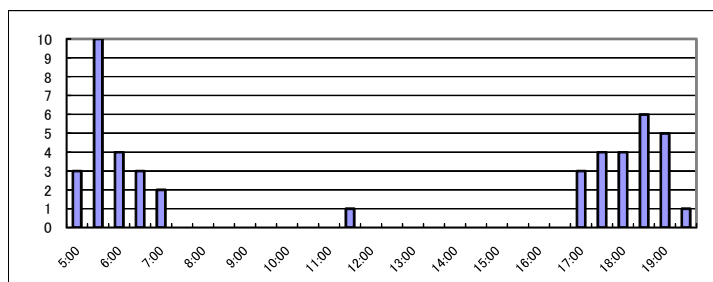


図4-1 ヤンバルクイナ出現状況の変化(2007年7月25日)

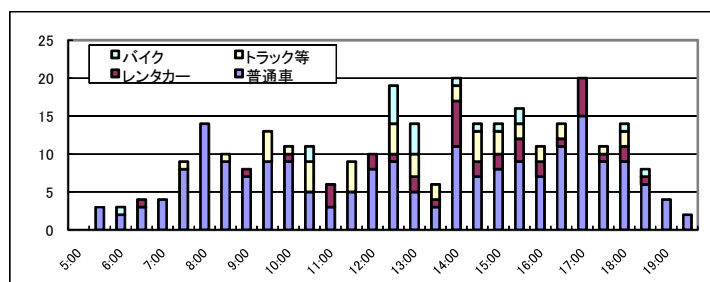


図4-2 調査地域における交通量の変化(2007年7月25日)

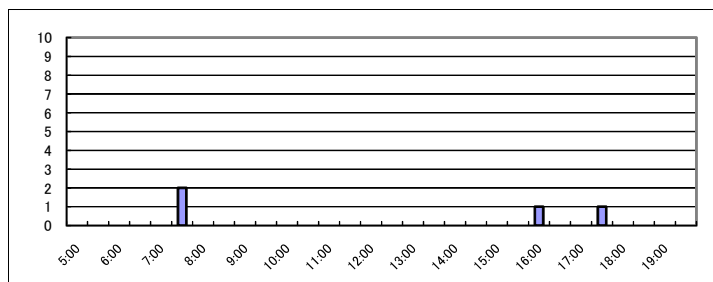


図5-1 ヤンバルクイナ出現状況の変化(2007年11月22日)

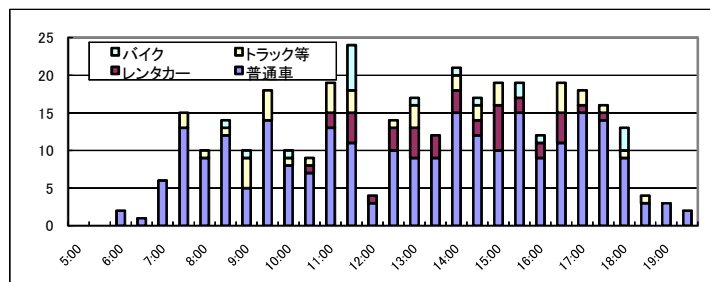


図5-2 調査地域における交通量の変化(2007年11月22日)



写真
調査地点 (左)
と
路上の
ヤンバルクイナ